

# 砂沼で水生生物観察会を開催しました

## ～第1回砂沼環境学習会～

令和2年度、下妻市にて策定した環境アクションプランの中で目標として設定した砂沼の有効な利活用を図るため、本年度も年3回の学習会を、砂沼環境連絡協議会と共催で開催していきます。

7月22日に、第1回目の学習会として、水生生物観察会を開催しました。今年は夏の初めから猛暑で暑さと闘いながらの学習会になりました。親子合計で42人の参加がありました。

講師には、茨城県環境管理協会から川島先生と茨城県環境アドバイザーである小島幸子先生を迎え、学習会が開始されました。

まずはじめに、前日にひょうたん池に仕掛けておいたワナを回収しました。ワナには大きなミシシippアカミミガメを中心に46匹がかかっていました。



たくさんのカメたちにびっくり

砂沼は下妻市の代表とされる沼で、徳川幕府前期の享保時代に農業用の水源として造られた人口の溜池です。今では農業用水と全国有数のヘラブナ釣りの沼としても有名です。

素晴らしい水資源をこれからも守っていくための活動を当協会としても推進していきます。無事に学習会を終了することができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



罟を引き上げ入っていた生き物を回収

子供たちはたくさんのカメとその大きさに驚き歓声を上げていました。

その後、観桜園の水路で水生生物の採集ヨシノボリ、モツゴ、スジエビを採取することができました。

そして、大きな外来魚であるカムルチーが捕獲され、これまた驚きの子供たちでした。

学習会のまとめとして、今回は採取できなかったものの砂沼に生息するいろいろな水生生物たちのそれぞれの生態について講師からの説明を受けました。



観桜園の水路で水生生物の採集

# 砂沼で昆虫の観察会を開催しました

## ～第2回砂沼環境学習会～

令和2年度、下妻市にて策定した環境アクションプランの中で目標として設定した砂沼の有効な利活用を図るため、本年度も年3回の学習会を、砂沼環境連絡協議会と共催で開催していきます。

8月6日に、第2回目となる昆虫観察の学習会を砂沼の西側に位置する観桜苑で開催しました。当日は9時30分から受付を開始、10時からスタートしました。

開会式では、下妻市長である菊池博市長様、から挨拶をいただきました。

講師には昨年に引き続き茨城生物の会の染谷保先生と有賀俊司先生にお願いし、学習会がスタートしました。

移動を始める前に、染谷先生から樹液にはハチがいるので、いたときには急な動きはせずに、ハチを刺激しないことなど、注意事項の説明がありました。

子ども達に虫取りあみと容器を配り、公園内を散策しながら昆虫の採取を行いました。まず南側の八坂神社近くの森でセミやチョウなどを観察採集しました。気にセミが止まっても近づくと飛んで行ってしまったり、悪戦苦闘しながらも、楽しそうに昆虫採取を行っていました。

その後公園北側の林へ移動し、思い思いに昆虫採集を楽しんでもらいました。

一通り公園内での昆虫採取を終えて、最後に採取できた昆虫のまとめを行いました。

セミの仲間は、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、ヒグラシのこの時期に砂沼周辺で見ることができる5種すべて観察でき、他にはオオカマキリやウ

チワヤンマ等全部で20種類の昆虫を捕まえたり、観察することができました。その中には昔はほとんど見られなかった南方種のツマグロヒョウモンが温暖化の影響で茨城県でも増えてきたことや外来種のアカボシゴマダラについて先生方の説明を受けました。

また集めたセミの羽化殻の見分け方などの資料を配布し子供たちが自分で羽化殻の種類を調べることに挑戦しました。

周囲を住宅などの囲まれた都市公園の砂沼でも、様々な昆虫を見ることができました。暑い中夢中に虫を追いかけ、無事に終了することができ、事務局としてもうれしい限りです。



捕まえた虫たちの名前を調べました



セミを狙う子供たち